

学習課題(小学校3年生)

【社会】



<学習内容>「工場しごとの仕事」

◆札幌市内の工場きょうかしょの仕事について、教科書52～65 ページや地図帳ちずちょう、学校で使っているしりょうなどをさんこうに、学習しましょう。

(1) 札幌市にはラーメンやパン、にゅうせい品、みそなどの食料品をつくる工場ことば (教科書 P53)がたくさんあります。家にある食品のパッケージひょうじの表示を見て、札幌市の工場ことば (教科書 P59)でつくっている食品をさがして、右の表に書きましょう。

| 食料品の名前 | 工場のある区 |
|--------|--------|
| | 区 |
| | 区 |
| | 区 |

(2) 教科書 52～57 ページを見て、福岡市のおかし工場では、どのようにしておかしを作っているのかを教科書で調べて、まとめましょう。

①おかしは、工場ことば (教科書 P59)でどのようにつくられているのだろう。

② おかしの原料げんりょうは、どこから運ばれてきているのだろう。

③ おかし工場では、どのようになくふうをしているのだろう。

※札幌市にある工場の人たちも、福岡市のおかし工場の人と同じように、さまざまな工夫や努力をして、いろいろなものをつくっているんだね。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆「農家の仕事／工場しごとの仕事」

- ・この単元は、教科書を参考に、自分たちの住む地域の「農家の仕事」（教科書38～51 ページ）または「工場しごとの仕事」（教科書52～65 ページ）のどちらかを選択して学習します。
- ・出かけた際に「〇〇区には、こんな工場しごとがあるんだね。」などと工場の立地について話題にしたり、日常から家にある食料品のパッケージに目を向けたりするとよいです。
- ・工場の立地について考える際には、地図帳を活用し、交通の様子などに着目するとよいです。
- ・教科書では、おかしをつくる福岡市の工場しごとの取組を紹介しています。札幌市の工場しごとの人も同様の努力や工夫をしていることを想像しながら、作業の工夫や自分の生活との関連などに着目して学習を進めることが大切です。